

2024年10月20日

## 2025年度 大学院経営管理研究科

### 経営管理専攻 修士課程

入学試験 (経営管理プログラム/ホスピタリティ・マネジメント・プログラム)

#### 【小論文試験問題】

以下の文章は、ロバート・B・チャルディーニ著『影響力の正体：説得のカラクリを心理学があばく』から抜粋したものである（抜粋に際して、小見出しや注記および一部の文章を省略、改変している）。

この文章を読んで、以下の（1）から（4）に答えなさい。なお、解答にあたっては、全て日本語で書くこと。

- （1） 下線部 (A) に関して、テレビ番組で用いられる人工的な笑い声も、デイヴィッド・フィリップスが注目した「ウェルテル効果」も、「社会的な証拠のルール」の例である。この一見異なる2つの現象は、「社会的な証拠のルール」という点でどのように共通しているか。まず「社会的な証拠のルール」が何かを説明した上で、200字以内で説明しなさい。
- （2） 「ウェルテル効果」が生じる原因についての説明として、下線部 (B) と下線部 (C) の解釈が不十分である理由を、それぞれの解釈を要約した上で、350字以内で説明しなさい。
- （3） 下線部 (D) について、なぜそのような予測ができるのか。またこの予測が正しいことをフィリップスはどのような分析を通じて示したか。250字以内で説明しなさい。
- （4） 下線部 (E) について、なぜそのような予測ができるのか。またこの予測が正しいことをフィリップスはどのような分析を通じて示したか。200字以内で説明しなさい。

【文章】

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承ください。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

この部分の文章は、著作権者の許諾を受けていないため、現時点では掲載することができませんので、ご了承願います。

出典：ロバート・B・チャルディーニ著『影響力の正体：説得のカラクリを心理学があばく』  
SBクリエイティブ、2013年、pp. 166-168, pp. 207-214.